

第8回第2次厚木市教育振興基本計画策定委員会会議概要

会議の主管 教育総務部教育総務課
会議の日時 令和2年8月27日（木）午前10時から午前11時まで
開催の場所 厚木市役所第二庁舎4階 教育委員会会議室
出席者 第2次厚木市教育振興基本計画策定委員会委員10人
（事務局）
教育総務部長、教育総務課長、教育総務課教育企画係長、同主査
傍聴者 なし

会議の概要は、次のとおりです。

《委員10人中10人の出席により、定足数に達し第8回委員会が成立》

第8回委員会

1 開 会

《委員長あいさつ》

2 案 件

（1）第2次厚木市教育振興基本計画（案）について

《事務局説明の概要》

資料1の「第2次厚木市教育振興基本計画構成図（案）」等に基づき、計画内容について説明。資料2「提言書提出後の修正箇所一覧」に基づき、構成図における修正箇所について説明。

《質疑》

委員長 提言書の提出以降、教育委員会定例会や意見交換会などで議論していただき、その内容を事務局で整えていただいたものが本日の資料となっていると思います。基本理念は変わっていませんので、基本目標から進めます。内容が変わっている部分がありますが、いかがでしょうか。

委 員 全体的には文言が整理されてすっきりとした印象を持ちました。ただ、その

中で引っ掛かりを覚えた部分は、基本目標「挑戦」の中で、「未来を拓くために」が目的として文頭に出されているところです。生涯学習の大目標は、自分自身を高めることであって、その高めた結果として地域社会に何らかの寄与ができるのだと思います。そう考えると、「未来を拓くために」だけに学んでいる訳ではないと感じるところがあります。学びたいと思ったときに、いつでもそういった場が提供され、興味・関心を抱いたことを学んだ結果として、未来を拓く、又は挑戦する力の育成につながっていくのではないかと思います。文頭に「未来を拓くために」が出されると、目的が限定されてしまう、狭くなってしまうと感じました。

委員 「挑戦」の解説のところですが、「そうした未来を豊かに生きていくには、子どもの頃から知識、技能、思考力、表現力に加え、学びに向かう力を伸ばす」とありますが、これからの学びがどう進化していくかという文部科学省の資料を見ると、ここに判断力が加わるので、この解説にも記述した方がいいと思います。

委員長 ありがとうございます。他にありますか。では、出していただいた御意見について議論したいと思いますが、「挑戦」の中の「未来を拓くために」が文頭にきたというのは、どういう経緯があったのでしょうか。

事務局 挑戦した結果として未来を拓くという流れが正しいのではないかと、必然的に未来を拓くことが最終目的となるのではないかと御意見があり、このような形に修正しています。

委員長 委員の先程の御意見を聞くと、「未来を拓くために」が冒頭に置かれると、その未来は社会全体の未来というニュアンスが強くなってしまうという趣旨ではないかと感じました。つまり、「未来を拓くために」と言っても、誰のための未来なのかが弱まってしまうという意味だと解釈しましたが、これについては私も同意見です。修正前の表現では、「自ら学び、鍛え」と始まっていて、自分がどう学び、どう自分づくりを進めていくかという文脈の中に未来が出てくるので、自分の未来だと捉えることができました。しかし、これが文頭にくると、いったいの誰の未来なのかが曖昧になってはしまわないかと感じます。元々、基本目標の「挑戦」は自分づくり、「共生」は仲間づくり、「創造」は社会づくりという大きなコンセプトがあったと思いますが、文頭に「未来を拓くために」とくると、自ら学び続けるという目的と違ってきてしまうのではないか感じました。

委員 先程言った私の意見は、ほぼ委員長が今解説していただいたとおりです。社

会教育、生涯学習の立場からは、強制されて学ぶのではなく、自ら学ぶ姿勢とその環境が整っていることが最も大切なことです。そうした個人の力が結集して、結果として社会、未来を良くしていくことにつながっていくのだと思いますが、それはあくまで結果ではないか思いました。その意味から、冒頭で未来を拓くことが目的だとしてしまうと、違和感が出てきてしまうのだと思います。

委 員

私も今の御意見に近いです。世の中では人生100年時代や生涯学習の大切さが言われていますが、70歳を前にしている私を感じるのは、未来を拓くために学ぶ訳ではないということです。学び直しや学びの振り返りをしたいという思いはありますし、それが結果的にまちづくりや地域づくりに役立てばいいと思いますが、この計画が子どもだけでなく市民全体に向けて策定するものであれば、未来を拓くために学んでいる人ばかりではないので、もう少し幅の広い表現にすべきだと思います。今までの教育のシステムはよいものだったと思いますが、自ら学ぶというところは弱かったと思います。結果的に、子どもたちは指導されないと学んでいけないという反省点があったので、今思考力や判断力、表現力が問われているのだと思います。そういう意味からすると、基本目標の表現としては、その背景にある考え方を考慮すると修正前の方が良いと思います。

委員長

他の修正点について御意見はありますか。ないようですので、当委員会としては、基本目標に対する意見は以上としますので、後は事務局で検討をお願いします。続いて、基本方針に移りますが、いかがでしょうか。

委 員

今回は策定委員会の最終回なので、これからの5年、10年先に必要な教育について話しておきたいと思います。計画の内容や文言についてはこれでいいと思いますし、大切なのは何を実行するかということです。これからの教育に必要なのは、やはり子どもたちが主体的に学ぶことができるかという点です。日本の教育は、やり方によっては、世界に誇れるものになると思っていますが、そこで問題となっているのは、先生方が忙し過ぎることです。今は上からの方針を実行する役割が大き過ぎますし、そうしたシステムは変えていくべきです。日本の教育は、可能性はあるのに、変革を実行できないもどかしさを感じます。もっと先生方を解放し、自主性を尊重していくべきだと思います。全国にはこれまでのやり方を独自に大きく変えて成功している事例もあります。どうしてそうした事例が広がらないのか不思議です。少なくともあと5年くらいのスパンで変えていってほしいと思っています。それと、世界的に遅れをとっているICTの活用ですが、メリットもあればデメリットもあるので、そこをよく理解しながら推進していくべきです。教育は未来への鍵ですから、この計

画に書かれていることをどんどん実現していったほしいと願っています。

委員長 ありがとうございます。事務局は今のお話を受け止めてほしいと思います。新型コロナウイルスが広がる今だからこそ、しがらみを離れて実行できることがあるように思います。私からも1点ありまして、基本方針の解説文の末尾が「していきます」と「します」が混在していますので、統一した方がいいと思います。その他、基本方針について御意見はありますか。

委員 基本方針8のスポーツの方針で、「いつまでも生き生きと」という表現がありますが、漢字の使い方の正確なところは分かりませんが、私は「活き活き」の方が好きなので気になりました。あるいは、漢字とはイメージが変わってしまうかもしれませんが、平仮名にすることもいいかもしれません。

委員長 この辺りは表記上の問題でありますので、事務局に検討をお願いしたいと思います。

委員長 他になれば最後に「計画を支える重点的な取組」に移ります。いかがでしょうか。

委員 「安心」と「協働」は、計画の根底にあるものという捉えなので、このような内容でいいと思います。

委員長 ありがとうございます。計画の期間についてですが、以前にも聞いたことがあったのですが、基本理念と基本目標は12年間、基本方針は6年間、実施計画は3年間だったと思いますが、この「計画を支える重点的な取組」の見直しの時期は何年になるのでしょうか。資料1の構成図には12年のものと6年のものが同居している中で、「計画を支える重点的な取組」には計画期間の記載がない状況です。もし、厚木市の総合計画の重点的な取組と合致するのであれば、総合計画と合わせたらどうかと思います。教育委員会独自のものであれば、どの計画期間にするか整理する必要があると思います。

事務局 「計画を支える重点的な取組」の期間は、計画の中に明確に定めていませんが、厚木の取組の根底にあるものとして、12年間を通じて取り組んでいくものという位置付けで考えています。総合計画については、現在策定中ですので、これからの状況を確認して参ります。

委員長 私の意見では、6年くらいでの見直しが良いのではないかと考えています。見直した結果、継承するのであれば、それでいいと思います。「安心」と「協

働」は、計画の中でも上位に位置付けてありますので、ここはしっかりと整理した方がいいと思います。それでは、他に全体通して御意見があればお願いします。

委 員 この計画の下には、実施計画が作られるということによろしいですか。

事務局 それぞれの基本方針を実現するための施策として、事務局において実施計画をまとめていきます。

委員長 協議としては、以上でよろしいでしょうか。

一同 (異議なし)

委員長 これからは協議体としての教育委員会で計画を定めていくことになると思いますので、私たちの1年間を通した議論を様々なところで生かしていただけるようお願いしたいと思います。それでは、協議の方はこれで閉じさせていただきます。進行は事務局に戻したいと思います。

3 閉 会